

令和4年 第8回米原市定例教育委員会

日 時：令和4年8月19日（金） 午後3時30分開会
場 所：米原市役所 コンベンションホール

（出席者）

教 育 長：馬淵教育長
教 育 委 員：中川委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員、井口委員
教 育 部：口分田部長
教 育 総 務 課：梶田課長
学 校 教 育 課：山口課長
生 涯 学 習 課：平山課長
ス ポー ツ 推 進 課：高木課長
学 校 給 食 課：藤田課長
図 書 館：梶川館長
子 ども 未 来 局：寫局長
保 育 幼 稚 園 課：小寺課長
子 育 て 支 援 課：山田課長
書 記：奥村

1 開 会

2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。

先日の大雨がありまして、その後雲のたたずまいは秋めいてきたように感じます。

本日の午前中、米原市の生徒会フォーラムが9時から12時ごろまでこの場所で行われました。そこで、6中学校の生徒会役員が各学校の取組をパワーポイントでプレゼンをし、その後交流をして、そのあとグループに分かれて協議をして、米原市として実施していくプロジェクト名を決めました。繋がろう米原ラブアンドピースプロジェクトという名前になりました。そこで私が驚いたのは、中学生がプロジェクトを考えるときに、基本的な人権とか団結が大事だと、そういうことがあるのですが、他に地域を大切にしよう、地域愛、郷土愛そういうものをかなり前面に出しているところです。繋がろうというのは、単に6中学校が繋がるではなくて、地域と繋がろうという意味合いも込められており、非常に感動したところです。この6中学校の生徒会役員は、米原の学びあいステーションで明日の午後行われます、中学生広場の実行委員にもなっているため、そのリハーサルを行っております。立派にやってくれると考えています。発表者12人の

うち、米原市の生徒も選ばれて発表をします。結果を非常に楽しみにしています。次に、令和4年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査の結果について、概要をお知らせします。設問はたくさんありますが、私の方で21項目を選びました。それを、全国と県と比較をしています。自分には良いところがあると思いますかの設問では、当てはまる、どちらかと言えば当てはまる、どちらかと言えば当てはまらない、当てはまらないの4択のうち、最初の2つを合わせた合計で比較しています。米原市は、小中学校とも合計では上を行っているということです。これは6月くらいから保護者会に向けて、子どもたちの良いところを探して必ず伝えるように言っていますので、その結果が出ているのではないかと思っています。先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますかの設問では、当てはまるは最高値にはなっていませんが、合計では小中学校とも良い結果が出ています。その次の設問の将来の夢や目標を持っていますかについては、小中学校とも、全国、県に劣っている状況です。ここを大事にしていますので、今後頑張っていきたいと考えております。全体的に見ますと、21項目中全国、県より上のものが小学校で10項目です。これは相当良いことと思いますが、中学校では21項目中17項目が全国より上なんです。すごいことだと思います。そういういいものを恣意的に集めているのではなくて、ここは大事だと考えられるものを集めた結果がこのようになりました。ここで小中学校共に結果が出ているのは、人が困っているときは進んで助けていますか、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますかです。それから、人の役に立つ人間になりたいと思いますか、学校に行くのは楽しいと思いますか、友達と協力するのは楽しいと思いますか、地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか、などがあり、今住んでいる地域の行事に参加していますかについてははすごく率が高いと思います。当てはまるのところを見ると、全国の小学生が23.4%のところ、米原市34.0%で10ポイント以上高い。中学校も当てはまるは全国の14.3%、県が18.8%のところ、米原市は35.1%です。すごく子どもたちが地域に溶け込んで、地域のことを考えて生活しているということが良く分かります。次の地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがありますか、は不思議なんです。小学校は51.0%であまり高くないんです。最低値なんです。中学校は47.6%でかなり高い値で、全国や滋賀県より10ポイント近く高い値です。この結果の一部を今日、中学生にも紹介させていただきました。今日ここで皆さんに紹介し、来週24日の管理職会議でも披露したいと思います。この結果の教科の点数については、大体概略を見ますと小学校は全国平均、県平均を少し下回る位、中学校は県平均より少し上ですが、全国平均並みまたは、それより少し上というところです。経年変化を見てきますと、今の中学3年生が小学校の時には、県、全国平均を下回っていたのが伸びてきている。これは例年の傾向です。この伸びてきていることと、この質問紙調査アンケートの内容が合致しているのではないかというふうに思います。単に成績を上げるような努力をするよりも、一番人間として大事なところ、そういうところをしっかりと指導していったり、子どもたちが生徒会、児童会で自分たちで考えていったりするところ、やはり成績も同時に伸びていくのではないかというふうに考えている

ところです。

以上、最初の挨拶とさせていただきます。本日も御審議よろしく申し上げます。

3 会議録承認

令和4年第7回定例会議事録

4 議案審議

議案第27号 令和3年度米原市一般会計決算に係る主要な施策の成果について

【 各 課 】

(内容)

教育委員会事務局所管の令和3年度米原市一般会計決算について、その主要な施策の成果について議会報告するため提出するものである。

— 以下、議案に基づき説明 —

A委員 : 給付型奨学金の令和3年度末の定住状況と、特別支援就学奨励費の受給者増の理由、いじめ問題調査委員会へ調査を依頼した事例は何件くらいあったか教えてください。

事務局 : 定住状況につきましては、令和3年度に1人転出をされています。特別支援就学奨励費については、人数が増加している状況です。

事務局 : 令和3年度に新たに調査を依頼した案件はありません。昨年度発生した案件で、対応が困難な案件について助言をいただきながら進めています。

A委員 : 専門委員会と調査委員会の違いは何ですか。

事務局 : 調査委員会については、対応が困難な案件について現状をお話して、どんなことが必要なのか、どういう対応をすれば良いのか助言をいただいています。

専門委員会は全体的な状況を報告をして、それぞれの立場から助言をいただいています。調査委員会の方が専門的な立場で助言をいただいています。

A委員 : 調査委員会は定期で開催されているのか。

事務局 : 学期に1回開催しています。

議案第 28 号 令和 4 年度米原市一般会計補正予算（第 6 号）について 【各課】
（内容）

令和 4 年度米原市一般会計補正予算（第 6 号）のうち、教育委員会所掌の補正予算を令和 4 年度米原市議会第 3 回定例会に提案することについて、教育委員会の意見を求めるものです。提案理由としては、所要の補正予算が必要となったため、歳出予算 38,191 千円を増額するものです。

教育総務課については、歳出予算のうち小学校施設維持補修事業の委託料 9,300 千円を増額は、坂田小学校駐車場造成のための費用です。坂田小学校では教職員の増加に伴い慢性的な駐車場不足が発生しており、来校者の駐車場確保に苦慮しているところです。また、令和 5 年度からは長寿命化改良工事を予定しており、現在の駐車場が使用できないことから教職員および来校者の駐車場確保が必要となります。今回の補正予算につきましては、駐車場の造成のための現地測量および設計業務を計上しております。次に、中学校就学支援事業の負担金補助及び交付金は、16,200 千円を増額です。中学校入学時には制服等の学用品の購入が必要となり、保護者の負担軽減のため、令和 4 年度から中学校入学支援金を交付しています。今回の補正は令和 5 年度入学の児童を持つ保護者に対し、今年度内に入学支援金を交付するため補正を行うものです。

学校教育課については、各小中学校の電気代、ガス代について、物価高騰に伴う光熱水費の不足に伴う補正を行うものです。小中学校合計で電気代が 5,000 千円、ガス代 7,000 千円を増額補正を行うものです。

保育幼稚園課については、山東幼稚園の管理運営事業について、学校同様物価高騰に伴う光熱水費の不足分 841 千円を増額補正するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

議案第 29 号 米原市立学校設置条例の一部を改正する条例について 【保育幼稚園課】
（内容）

米原市立学校設置条例の一部を改正する条例を令和 4 年米原市議会第 3 回定例会に提案することについて教育委員会の意見を求めるものです。提案理由は、令和 7 年 3 月 31 日をもって米原市立山東幼稚園を廃止するため、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

A 委員 : 私の周辺の意見を聞いていますと、山東地域は、私立の保育園があつて山東幼稚園があつて、今回それが廃止になると、私立の保育園が主になって公立が無くなるということで、具体的な選択は別として距離的なことや、

保護者の昔からのなじみとか地域性から見て、大原小学校の子どもたちが多いのは大原保育園とか山東幼稚園、やはり自分の家との距離が近いところへ行って、子どもたちも一緒に帰ってきたら一緒に遊んでいるのが現状です。いろいろな考え方の保護者がおられて、短時部を希望される方はいぶき認定こども園が良い言われれば、そちらへ行かれるでしょうし、長岡、柏原もあります。良い悪いは別として、子育ての方針ですので、公立が良いとか、私立を選びたいという意見を聞きます。身近なところに選択肢として長時部と短時部があるのは望ましいと思います。保護者の思いに沿った選択肢があることが重要と思います。市全体として保護者が選択肢をたくさん持てるように検討していただきたいと思います。

C委員 : 今後の方針として、在園児の集団規模の担保のため近隣の園と交流を行っていくとありますが、来年度以降、山東幼稚園の在園児が他の園に転園されることも視野に入れているのでしょうか。

事務局 : 山東幼稚園の在園児も進級をしますし、兄弟がいる保護者もおられますので、兄弟が別々の園になってしまうということもあり、転園されることも考えられます。10月からの来年度募集を行う際に希望を出していただくことになると思います

C委員 : 早い段階で同じ小学校に通う子どもとなじませたいという思いがあると思う。一方で、今の世代は地域のみならず同じ所より、いろいろな子との関わりを求めるような考え方もあるように思う。園が同じで小学校で分かれても、その後小学校行事で再会したときお互い仲良くしていた事例を見たことがある。保護者が何を望んで、子どものことを考えて選択することが大事であると感じた。選択肢が広がることは良いと思うが、子どもたちの環境が変わり、人間関係を一から作ることはプレッシャーだと思うので、保護者に十分説明していただき、自分の子どもに選択肢が作られるよう配慮してほしいと思います。もう一つ、転園をされる場合は、その園の特色や保育方針を、十分保護者に説明してほしいと思います。

原案承認

議案第30号 後援等名義使用承認（後援）

【教育総務課】

（内容）

別紙のとおり後援等名義使用承認申請書（協賛）が提出されたので、米原市教育委員会後援名義の使用承認に関する規程により、この案を提出するものである。

事業名 トークライブ「体と心の免疫力を高める食と生き方」

— 以下、議案に基づき説明 —

- A委員 : この件は初めて申請があったのですか。
- 事務局 : 今回初めてです。
- A委員 : 長浜や彦根、他の市に申請はされていないのか。
- 事務局 : 栗東市、野洲市、守山市、草津市、大津市と米原市に申請されています。
- C委員 : 以前申請して承認されなかったものを、再度申請されたのか。
- 事務局 : 新規です。
- C委員 : 後援申請されているのが南部の市で、湖北は米原市だけなのが不思議に感じた。米原市に申請された意図が何かあるのか。
- 事務局 : 今回7月14日付けで申請書を提出されていますが、その後他の市町にも申請をされています。どこの市町に申請されたかは把握していません。7月14日の時点では、栗東市をはじめとした市へ申請されていると聞いています。
- A委員 : この段階では申請したことを記載してあって、承認済ではないですね。
- 事務局 : 今までに、栗東市、栗東市教育委員会、米原市が後援承認していることを把握しています。ほかの市町が承認されているかは把握していません。
新規後援事業のチェックをするに当たりまして、開催場所が米原市内または隣接する場所でない場合は、市民の幅広い参加が期待できる事業または、本市を広く知らしめることが期待できる事業であることとなっております。講演のチラシなどに米原市を記載してもらおうということで対象事業としてチェックしている状況です。
- E委員 : 主催する側としては、後援の欄にたくさん名前が挙がっている方が顔が立つというか、そういう意味では後援を求めてもらえると思うんですけども、米原市は承認されている、それはそれで良いことと思いますが、教育委員会として今回の申請がどうなのか、全面的に賛同するかとなるとはっきりしないと思います。
- 教育長 : 今、食育も大切になってきておりまして、この団体がこれでなければだめだということよりも、こういう食もありますよということを少しでも啓発したいと、考えられているのではないかと考えています。団体として問題があれば別ですが、そういう問題は見えないように思います。既に米原市が後援名義申請を承認しているということ、他の教育委員会として栗東市教育委員会だけなので、なぜそういうばらつきが出ているのか、この一般社団法人の中に米原市の人が入られていて、米原市に申請をされているのかも分からないなと考えます。不承認としてハレーションが起こるとも思いませんが、教育の面で食育でそういうものを幅広く認めても良いのではないかと思います。

事務局 : 開催場所が遠いことが問題と思います。過去にも開催場所が大津、草津などの場合は、不承認とした事例も何回かあります。近隣市町の状況が把握できない状況で判断ができないと思われまますので、長浜市と彦根市の市と教育委員会の状況を確認して、それを踏まえて教育長に判断していただくことでいかがでしょうか。

調査後に教育長が判断することです承

議案第 31 号 米原市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について 【学校教育課】
(内容)

米原市附属機関設置条例第 4 条の規定により、米原市いじめ問題調査委員会委員を別紙のとおり委嘱したいので、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

5 報告事項

(1) 米原市立山東幼稚園の今後の方針について 【保育幼稚園課】

山東幼稚園については、園児の減少が課題となっており、昨年度米原市幼稚園の在り方検討委員会を設置し、今年 3 月に答申をいただいたところです。答申を踏まえ今後の方針を総合的に判断しました。山東地域の今後の動向については、大原小学校区の就学前人口を見ると、平成 20 年から令和 3 年の 10 年間で 30% 減少している状況です。また、米原市内の女性就業率の 10 年間の推移をみると 25 歳から 39 歳までの世帯において 10 ポイント就業率が上昇しており、これまで家庭内保育を担っておられた、60 歳から 65 歳の祖父母世代についても 20 ポイント上昇している状況となっています。0 歳から 5 歳の子育て世代の共働きの割合は平成 27 年が 57.2%、令和 2 年には 65.7%で約 8 ポイント上昇しております。人口推計では、5 年後に山東地域の民間園の定員を下回る事が判明しております。総合的な判断として、4 つの検討項目において検討をしました。1 つ目が就学前保育のニーズについて、2 つ目が民間の就学前保育施設との関係について、3 つ目が山東幼稚園の維持管理経費について、4 つ目が子どもにとって望ましい教育環境についてです。1 つ目の保育ニーズについて、山東幼稚園の就園児数については、平成 20 年度の 131 人をピークに現状は 33 人となっており、ピーク時の 1/4 程度となっています。小学校区別の山東幼稚園の就園状況を見ると、大原小学校区から 24 人、山東小学校区から 7 人で、この 2 学校区から就園している状況です。一方、いぶき認定こども園につきましても、大原小学校区から 10 人、山東小学校区から 2 人就園されている状況です。平成 20 年から令和 4 年度までの山東地域の施設別の利用者割合を見ると、山東幼稚園では、平成 20

年に32.6%であったものが、令和4年度には15.6%ということで半分以下となっている状況で、今後認定こども園の長時部や保育園への就園の希望が多く、少子化の進行、長時間預かりのニーズが今後ますます増えることが予想されます。検討項目の2つ目の民間の就学前教育保育施設の関係について、山東地域の保育は、3つの私立保育園が担ってこられ、60年以上の歴史があり長年地域に根差した運営をされています。山東幼稚園の認定こども園化については、市が実施したアンケート調査では、山東幼稚園を認定こども園と子どもの預かり時間を延長した施設に変更して園を維持できないかという意見もありました。平成18年の就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の制定以降、市では幼保一元化の推進に力を入れ、各地域の状況を踏まえた検討を行った上で、平成22年3月に米原市幼保一元化推進プランを策定し、施策の推進を図ってきたところです。この時、山東地域については、子どもたちに必要な集団規模は確保できているということで、整備方針は現状維持となっておりました。民間保育園がそれぞれ特色ある園づくりを行う中で、地域とともに歩む保育を担ってきた長い歴史を尊重しながら、公立幼稚園と共存共栄を図ることとされ、現在に至っています。山東地域の3～5歳の就園状況は、170人が就園されている状況で、山東幼稚園を除いた私立2園の現在の就園児数が137人で、利用定員は153人で既に利用定員を下回っている状況で、今後さらに少子化の影響を受けることが予想されます。検討項目3つ目の山東幼稚園の維持管理経費について、令和3年度の経費は人件費が主になっておりますが、これに4,260万円、運営に必要な経費として600万円、修繕費に546万円で合計約5,412万円の経費が掛かる状況です。これを園児1人当たりにしみますと約138万7千円の経費を要することとなります。市内の公立の認定こども園の園児1人当たりの経費は107万3千円となっています。さらに今後の大規模な維持管理経費として、屋根の改修に多額の費用を要する見込みとなっております。最後の検討項目4つ目の子どもにとっての望ましい教育環境について、幼稚園の教育要領、また、幼保連携型認定こども園の教育要領等では、就学前保育・教育については環境を通して行うものとなっております。この環境というのは物的な環境ではなく、人や物、自然事象などを含めた周囲の環境全てを指しており、就学前施設についてはこれらを計画的に構成して保育に取り組むこととなっております。望ましい環境を考えるための視点が2つあり、まず1つは一人一人の自発性の育ち、2つめが協同性の育ちです。幼児は他者との関わりの中で自発性を獲得していきます。共同生活の中で自発性が育まれるということが述べられており、他者との関わりの中で自発性が生まれ、さらに自発性がより深みのある協同性へと発展していくことを目指すためには、計画的な環境の構成に重要な視点となる他者との関わりが必要となるということで、そのことが子どもにとって望ましい環境に大きく影響すると考えられております。次に山東地域における保育・教育の内容の状況です。市では、米原市の保育の指針に基づき、各園の特色を生かした保育を行っています。山東地域

でも周囲の豊かな自然を取り込みながら、地域に根差した保育、伝承文化を大切に
する保育、心身を健康にする保育、自然と仲間を大切にする保育と、そういう
工夫をしながら具現化をしているところです。山東幼稚園の保育・教育の状況と
展望について、山東幼稚園でも広々とした園舎の中で、指針に則った創意工夫あ
る保育を行っております。少人数の良さを生かして一人一人に丁寧に関わつた
り、異年齢との関わりを意図的に行ったりしています。一方で、自発性や協同性
を培う視点においては、日常的な集団規模の維持という観点から課題が大きく、
近隣の公立の認定こども園との交流、今現在はコロナ禍で未実施であります、
公立園同士のメリットを生かして集団規模を補いながら自発性、協同性の深まり
を目指すこととしています。米原市幼保一元化推進プランでは、4，5歳児は1
学級30人以内が望ましい、ただし、それぞれの年齢に少なくとも10人以上の在
籍が必要であるとの基準を設けており、これについても課題が出てきている状況
です。検討からの総合的な判断については、山東幼稚園を幼稚園のまま維持する
こととなりますと、山東地域においても4園が米原市保育の指針により育ちの方
向を共有しているとの強みを生かし、各園の特色を発揮しながら保育を行い、子
どもの育ちを小学校に接続しています。また、子どもたちのことを中心に考える
視点に立つと、他者との関わりの中で自発性が生まれ、さらにこの自発性がより
深みのある協同性へ発展していくことを目指すためには、計画的な環境の構成に
不可欠である他所との関わり、集団規模の担保が必要となりますが、山東幼稚園
における園児の減少の現状や、今後の少子化の進行の予測から対象児童の絶対数
は減少していき、集団規模の維持が困難となることから、現状のまま幼稚園とし
て維持することは適切ではないと考えられます。山東幼稚園を認定こども園化す
ることについては、幼保一元化推進プランに置きまして山東幼稚園は、乳幼児の
減少が見込まれるため、子どもの集団規模の適正化の観点から、施設構想につい
て更なる検討が必要とされています。既に認定こども園長岡学園と大原保育園で
保育の利用者数が定員を下回っている現状に置きまして、山東幼稚園を認定こ
ども園化することについては保育の受け皿の供給過多となり、地域内の施設間で利
用者が分散され、私立園においては利用者の減少によって経営に大きな影響を及
ぼすことに繋がることと考えられます。また、各施設において集団の規模の維持
が困難になることが予測され、認定こども園とすることも適切ではないと考えら
れます。米原市の全体の幼児教育・保育施設の今後についてですが、少子化は山
東地域に限ったことではありません。将来的にはいずれの地域においても集団規
模の維持が困難になることが予想されます。こういったことから、公立園、私立
園に関わらず、この議論は避けて通ることはできないと考えており、今後も子
どもたちにとって望ましい環境を維持できるよう見直しを行っていく必要があると
考えています。配慮事項については、在園する子どもたちを含め保護者への配慮
を行い、その時期を慎重に検討すること、また、保育の質を高め子どもたちが安
心して小学校へ就学できるよう幼小連携を推進すること、他の用途へ転用する場

合は、隣接する天狗の丘を含め可能な限り子どもに関連する施設となるよう検討することとなっています。最後に米原市の方針として、山東幼稚園は令和7年3月をもって閉園したいと考えております。在園児については、卒園まで就園を保障し、令和4年度以降の新しい園児の募集は行わないこととします。また、在園児の集団規模を担保するため、閉園までの間近隣の園と交流を図っていくということで、その際には学区内での民間園との交流や、市内の公立園との交流をこれまで以上に積極的に進め、小学校への円滑な接続が図れるよう進めていきたいと考えております。公立の施設への就園と希望される場合は、いぶき認定こども園へ受け入れできるよう調整を進めていきたいと思っておりますし、その際に通園バスの利用希望があれば対応したいと考えております。今後のスケジュールについては、今週末に山東幼稚園の保護者への説明会を実施したいと考えております。また、山東地域、市民の方への説明ということで説明会を実施する予定です。9月の市議会に、今回議案として提案しております米原市学校設置条例の改正につきまして、上程したいと考えております。10月には申込みを停止したいと考えています。施設の活用についてですが、有効活用を図っていきたいと考えております。幼稚園施設につきましては、隣接する天狗の丘公園を含めて子育て環境の充実に資する施設に再整備することを目的に検討を進めたいと考えており、米原市の中央部に位置する地理的条件や、豊かな自然環境を最大限に生かしながら、子育て世代から望まれる施設になるよう、構想づくりに着手していきたいと考えております。

(2) 後援等名義使用承認（後援）について

- 2022 書き損じハガキ回収プログラム 【学校教育課】
- 湖北対流都市構想推進事業 【学校教育課】
世界に一つだけの秘密基地を創ろうー未来を創る勇者の挑戦ー
- 第47回滋賀県人権教育研究会 湖北ブロック 【学校教育課】
- びわ湖ホール声楽アンサンブル
ファンタジックオペラ「泣いた赤おに」
- 地方創生、地域活性化プロジェクト 【生涯学習課】
歌って！踊って！脳活で介護予防！！
「人生100年まつり旅 ふるさと米原編」
米原から世界へ「ワールドパフォーマンスフェスティバル」
- ぶんさん0歳児からのコンサート 【生涯学習課】
- 第34回伊吹山麓友好軟式野球大会 【スポーツ推進課】

6 所属長報告

資料事前送付により説明省略

7 質疑応答

C委員 : いじめの事案について、加害側への指導にとっても大きな意味があると思うので、加害側への指導についてできる限り教えてほしい。また、夏休み中の子どもたちの様子について、分かる範囲で教えてほしい。

事務局 : いじめの完全な解決を図れないまま夏休みに入った事例があり、2学期が始まるまでに学校から両者に声掛けを行い、解決を図っているということを知っています。全体的な様子については、休み中ですがコロナの陽性者報告は入ってきております。報告を受けた件数より罹患者は多いことが予想されますので、教育委員会から保護者へ一斉連絡を流すこととしています。始業式までにコロナの全体像を把握したいと考えています。

C委員 : 夏休み中にいじめ等の不安な事例とかの相談はありませんでしたか。

事務局 : 特に報告は上がってきておりません。あと、前段のいじめ事案等の報告について、文面にすると冷たいような感じを受けて、「指導した」という表現になりますが、担当の方では一つ一つの事例に対し丁寧に対応し、詳細な履歴を残すような対応をしておりますので、御理解をお願いします。

8 その他

(1) 令和4年第9回定例教育委員会の開催について

日 時 : 令和4年9月28日(水) 午後3時30分から

場 所 : 米原市役所 コンベンションホール

(2) 令和4年第10回定例教育委員会の開催について

日 時 : 令和4年10月25日(火) 午後3時30分から

場 所 : 米原市役所 コンベンションホール

9 閉 会

以上をもって令和4年第8回定例教育委員会を午後5時26分に終了した。